

ミゾゴイ

Gorsachius goisagi
(Temminck)

コウノトリ目
CICONIIFORMES
サギ科
Ardeidae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 準

選定理由 日本だけで繁殖する固有種であるが、生息個体数は少ない。森林開発により繁殖に適した環境が減少している。

県内分布 低山の溪流部に生息する夏鳥あるいは越冬。

分布域 本州(新潟、関東以南)、四国、九州で夏鳥。九州以南では越冬。日本のみで繁殖。中国南部、台湾、フィリピンで越冬。

生息環境 平地から低山の混交林の沢筋で繁殖し、うっそうとした薄暗い森林中の溪流で甲殻類や昆虫を食するが、個体数が少なく、夜行性でもあるため、その生態は不明な部分が多い。

現 状 竹田、日田、玖珠などで観察記録がある。夜行性であるため、観察される機会が少ない。

備 考 国際自然保護連合：絶滅寸前種

チュウサギ

Egretta intermedia intermedia
(Wagler)

コウノトリ目
CICONIIFORMES
サギ科
Ardeidae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 準
水産庁 希少種

選定理由 営巣地となる竹林や雑木林が、開発などにより減少し、個体数が減少している。農薬汚染による餌の減少も考えられ、全国的にも個体数が急激に減少している。

県内分布 田園地帯、水田、湿地などに生息する夏鳥。

分布域 本州、四国、九州で繁殖。琉球諸島では冬鳥。朝鮮半島、中国南部で繁殖。フィリピン、インドネシアで越冬。

生息環境 平野部の草地、水田、川岸、湿地などに夏鳥として生息し、コサギ、ダイサギなどととも平地や丘陵の林で集団営巣する。昆虫類、小型魚類、甲殻類、両生類、爬虫類などを食べる。

現 状 集団営巣地は、悪臭や騒音などのために近隣住民から苦情が出て、繁殖妨害や有害鳥獣駆除をされることがある。

カラシラサギ

Egretta eulophotes
(Swinhoe)

コウノトリ目
CICONIIFORMES
サギ科
Ardeidae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 情報不足

選定理由 本種の分布は、東アジアの狭い地域に限定され、繁殖地も限られており、種の総個体数が極めて少ない。県内への飛来記録もわずかである。

県内分布 海岸部の湿地や河川でごく希に飛来する冬鳥または旅鳥。

分布域 全国各地でごく希に飛来する冬鳥または旅鳥。朝鮮半島、中国南部の限定された地域で繁殖。朝鮮半島南部、中国南部、東南アジアで越冬。

生息環境 干潟、河口、水田にごく希に飛来する。

現 状 主な生息地である干潟が開発により減少している。県内では、杵築で数回の飛来が観察されたのみ。

備 考 国際自然保護連合：危急種、ボン条約付属書Ⅰ登録種